

# Paris & Spain

YOKO'S TRAVEL REPORT

2.23 - 3.11 - 2010



パリのコンサート 開演前の会場の様子

エッフェル塔

2010年2月下旬に訪れた、パリ、マドリッド、セビーリャでのトリオ・コンサートは、大変楽しいものでした。旅の合間に撮った写真とともに、演奏会の様子や、素敵な景色、感じたことや面白いエピソードなどをお伝えします。

今回の滞在スケジュールは、成田出発～アムステルダム経由マドリッド着→パリ→マドリッド→セビーリャ→グラナダ経由ハエン→マドリッド～帰国と余裕を持っての日程で、2/28（パリ）、3/2（マドリッド）、3/4（セビーリャ）ではコンサートを行ない、その後、ハエン県で行なわれた国際ギターコンクールの審査員を務めました。

当時、ヨーロッパは寒波や大雨で天候不順な日が続き、マドリッドへ到着する前々日には雪まで積もったそうですが、幸いにも、私が到着した時には寒さも一段落しており、順調な旅を続けることができました。

さて、マドリッドから飛行機で2時間弱のパリへ向け、いよいよ出発です！

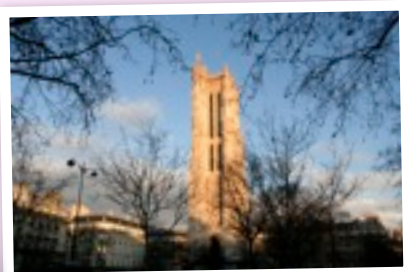


★PARIS—18年ぶりのパリ訪問



オペラ座の前にて

演奏活動を続ける中、世界の国々を訪問し、色々な街で演奏する機会を頂いてますが、なぜかフランスとは長いこと縁がなく、学生時代に行った旅行が最後でした。ですから、懐かしいパリを再訪できることに加えて、音楽の都であるパリ市内で演奏できることを心待ちにしていたのは言うまでもありません。今回は、昨年の北スペインでのツアー同様、名ギタリストのマリア・エステル・グスマンさんと手塚健旨さん、そして私の3人で組む、スペシャル・トリオでのコンサートで、由緒あるサン・メリー教会での演奏会に招かれました。プログラムは、デュオ (G&P)、ソロ(P)、ソロ(G)、デュオ(G)、トリオ(G&P)となり、全ての組み合わせを楽しめるものです。ギターとピアノ、その可能性はさらに広がりつつあります。



サン・ジャック塔



当日のプログラムとピアノ

風邪で体調を崩していたマリア・エステルさんは飛行機に乗れないため、既に購入していた航空券を捨ててまで、マドリッドからの寝台列車、ピカソ号を利用してパリに到着しました。

—2月28日(日) 16時開演

実はコンサート前夜、ヨーロッパを縦断中の竜巻がパリ近郊を通った影響で激しい嵐だったのですが、幸い明け方には風もおさまり、開演前には晴れ間も見えました。

コンサート会場は教会とはいっても、現在は主に市の主催するコンサートや芸術イベントのために使用されている建物です。内部は荘厳な雰囲気を感じる立派な空間でした。

天井が高いドーム型の教会ホール



そして、コンサート開演前になると、舞台を囲んで3方向にびっしり並べられた椅子がほぼ埋まり、大勢の音楽愛好家の方々の熱気に溢れました。ここでは、毎月定期的に音楽会があるそうで、真剣に聴いてくださる人々の表情には、音楽を心より楽しんでいるのが感じられます。天井が高く、ピアノの音色が心地よく響き、私も気持ちよく演奏できました。



コンサート中の客席の様子

翌日は天候も回復し、ゆっくりパリを散策しましたが、再び魅力溢れるこの街に招かれる予定もでき、次回の訪問が楽しみです。



▶ 次はマドリッドへ

# Paris Foto Album

I

2



5

3



4



7



8

6



II



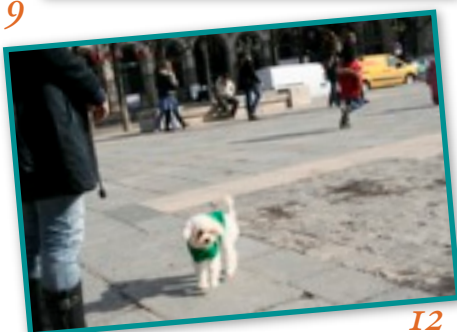
10



13



9



12



2-夕暮れのセヌ川  
3-リモージュ焼きのペアピアノ  
4,8,9,10 - パリは美味しい!  
5-コンサート後 マリア・エステルさんと  
6-マドレーヌ教会 7-エッフェル塔の展望台にて 11-凱旋門  
1,12,13 - ノートルダム寺院~憩いの広場~見事なステンドグラス

★Madrid - 3月2日 20:00 開演

午前中、パリからマドリッドへ飛行機で戻り、その夜20時にはコンサート。少し大変なスケジュールですが、旅慣れた今では、それもあまり気になりません。到着後にはすぐに日本レストランに出かけ、（幸いマドリッドには ソル近くのCalle Echegarayに『秋』と『どん底』という美味しいレストランがあるので健康のためにも助かります。）ホテルでゆっくりシエスタ。その後、開演2時間前には会場へ向かいました。



カナリア会館のピアノ

コンサート会場のカナリア会館は、サルスエラ劇場の向いにあり、もう何度も演奏している馴染みのところ。ここにはスタインウェイ製のセミコンがあり、私もカナリア会館の特別会員にさせて頂いてるので、時々ここで練習しています。

8時開演のコンサートは、マリア・エステルさんの友人やファンも多くかけつけ、今までにないほどに会場は満席となりました。ギター制作家の友人達も多く来場してくれたことから、とてもアットホームでなごやかな雰囲気。そしてスペイン人ならではの熱いブラボーの声と抱擁を受け、無事会を終えました。



終演後、ギター制作家の友人達と

その後、大勢との楽しい打上げ。  
スペインの夜は遅くまで果てしなく続きます。

★Sevilla - 3月4日 20:30 開演 **Spain**

この日は朝早くに、Atocha駅から新幹線AVEにてセビーリャへ。車窓を楽しみながら朝食タイム。



新幹線AVEにて朝食

前日に戻ったマリア・エステルさんとは会場となる音楽院で再会。このセビーリャ音楽院の建物は、その昔、屠殺場（牛や豚をさばく場所）だったとかで、その愛称も『MATADERO』！立派な建物が連なり、あちらこちらで、いろんな楽器の音が聞こえます。



セビーリャ音楽院の建物

今回のコンサートは黒鷲保護団体の主催で、まず最初に、黒鷲の絶滅危機を訴えるスライドショーを上映。そして私たちの演奏と続き、自然保護と音楽という、素敵な共演で、私自身も心に残るコンサートになりました。この日も終演後には多くの皆さんに囲まれました。



アンコールの拍手を受けて

パリから始まった今回のトリオ・コンサート。  
素晴らしい仲間と、主催者、そして来場くださった皆様に感謝するばかりです。

# Yoko's memory

## EL MUNDO -スペインの新聞 エル・ムンド紙に登場!

スペイン到着翌日の出来事です。  
あのマイケル・ジャクソンのThis is it 発売記念展がマドリッドのデパートで催されていたのですが、たまたまそこを通りかかった私に、カメラマンが突然寄ってきて、マイケル・ジャクソンのマスクを見つめるイメージ写真を撮らせて欲しい、と頼まれたのです。  
すると、翌日、新聞を見てびっくり!

まさかこんなに大きく掲載されるとは! 横顔ですが、確かに私の姿です。

もちろん、音楽会のことで地方紙などに紹介されることは今までにもありましたが、スペイン3大新聞に「Una Mujer ある女性」として載ることになるとは思いもよりませんでした。でも、偉大なるミュージシャンのマイケル・ジャクソンとの貴重なツーショットは思い出深いものとなりました。

左上: 掲載新聞

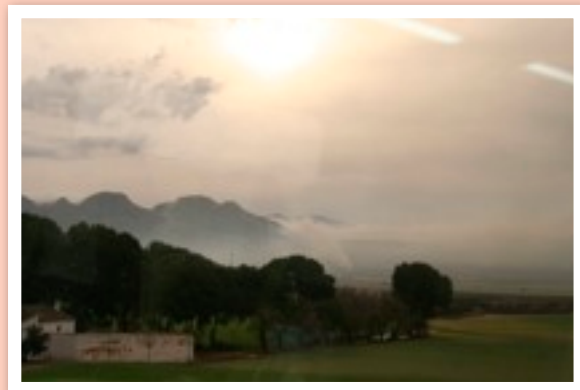
左: TV中継まで出る大イベントの様子

右上: カメラマンがこちらを見て頼むかどうか悩む直前? の様子を逆撮影しました。

アルハンブラ宮殿近くの急な坂道 (Granada)



車窓より (Jaen.)



コンサート舞台裏のトリオ (Sevilla)



ホテルの窓から (Madrid)

## CONCURSO - 旅の終わりに



市長と優勝者のアンドレイさん



記念の楯



最終選考中

旅の最後はハエン県で行なわれた国際ギターコンクールで、審査員を務めました。フランス、イタリア、ポルトガル、ロシア、ノルウェー、スペイン、日本、ほか国籍は様々で、情熱溢れる若者ばかりが挑戦。そして、見事優勝したのは、昨年の来日時に、アランフェスを共演したロシア人ギタリスト、アンドレイ・パルフィノヴィッチさんです。他の出場者もそれぞれにレベルの高い演奏でありましたが、すでに2つのセゴビア国際コンクールで優勝しているアンドレイさんは、他の出場者より一段上の演奏家としての風格と抜群のテクニックで光っていました。彼は今後、ますます活躍が期待される大型新人として注目です。今回は、このコンクールの10周年にあたり、審査員たちにまで授与されたのが、上の写真の記念品です。このコンクールが終わった翌日にはマドリッドへ。

旅の最後は、機内から眺める幻想的な景色に癒されて過ごしました。旅で得た数々の思い出を心に蘇らせながら。。それではまた！



機内から眺める夕陽



絶品パエージャ (Madrid)

★次回のスペインは11月。今回は、著書「スペインの風景」の出版記念としてツアーが催行されます。是非、スペインの素晴らしい風景、そしてコンサートを楽しんでみませんか？皆さんとご一緒できるのを心待ちにしております。 詳細：<http://www.book-special.bona.jp/>

★いよいよクエンカ兄弟の来日ツアーも間近となりました。

みなさまのご来場を心よりお待ちしております。 詳細：<http://www.yoko-takaki.com/>

By Yoko Takaki (2010.3.21)